

CASBEE-広島 (2010年ver.1)  
 (仮称)広島駅前ユニバーサルホテル

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.3</b>	1.00			<b>2.6</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 遮音		<b>2.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		2.0	1.00	2.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.9</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.9</b>
2.1 室温制御		<b>3.7</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温設定		3.0	0.38	3.0	0.57			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	マルチヒートポンプ型	5.0	0.38					
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>2.6</b>
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率		1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>2.5</b>	1.00			<b>2.3</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30	<b>1.6</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>1.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御		1.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.1</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性				3.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.5</b>	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	床、壁仕上に御影石、風除室は2階、外部金属部は亜鉛メッキ	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31					<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.3</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:硬質塩ビラインング管、排水:硬質塩ビ管	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	吊り配管、系統区分	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型便器	4.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	ホテルシステム	4.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	「建築設備工事耐震設計施工指針」に準じる	3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	光ケーブル、精密機器は2階に配置	4.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	1.0	0.50	-
1	階高のゆとり		-	-	1.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化			ERR=10	4.0	0.30	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	床:タイルカーペット、ビニルタイル、大便器、小便器	5.0	0.20	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場39台>付置義務15台	4.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリスト、広告物照明の配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-